



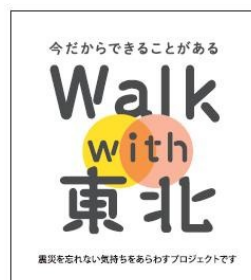
かながわ「福島応援」プロジェクト (kfp)

【 2017年度(H29) 活動報告 】

《2016年度(H28)活動実績・2017年度(H29)活動計画》

2017年4月1日

(更新：2017年5月25日 v6.1)





目次

I. 当会について	3
1. 設立趣旨書	4
2. 活動内容	5
3. 活動方針	6
4. 活動実績	7
5. 組織概要	9
6. 会員制度	9
7. 団体登録先・情報登録先	9
8. ご寄付	10
9. 当会運営	11
II. 2016年度活動実績（平成28年度）	12
1. 福島の課題	12
2. 活動方針	12
3. 活動目的	12
4. 全体事業実績（概要）	13
5. 事業実績詳細	14
(1) 事業1 ボラバス	14
(2) 事業2：現地活動（ボランティアバス以外の自家用車等による広域活動）	15
(3) 事業3：県内活動（他団体との連携による避難者支援）	16
(4) 事業4：県内活動（広域避難者支援に関わる交流会や会議等への出席）	17
(5) 事業5：情報発信（視察研修）	18
(6) 事業6：情報発信（講演会等）	19
(7) 事業7：情報発信（イベント出展等を通じた情報発信）	20
(8) 事業8：情報発信（ホームページを通じた情報発信）	21
(9) 事業9：災害復旧支援（国内での災害発生時の緊急対応）	21
(10) 事業10：維持管理（現地訪問、打ち合わせ等）	22



かながわ「福島応援」プロジェクト (kfop)
《2016年度(H28)活動実績・2017年度(H29)活動計画》

(8) 事業会計実績.....	23
6. 役員・スタッフ.....	26
7. 参加者状況.....	27
8. 平成28年度(2016年度)総括.....	28
III. 2017年度活動計画(平成29年度)	29
1. 福島の課題.....	29
2. 活動方針.....	29
3. 活動目的.....	29
4. 全体事業計画(概要)	30
5. 事業詳細.....	32
(1) 事業1: 現地活動(【バス便】ボランティアバス)	32
(2) 事業2: 現地活動(【広域便】ボランティアバス以外の自家用車等による広域活動)	33
(3) 事業3: 県内活動(他団体との連携による避難者支援)	34
(4) 事業4: 県内活動(広域避難者支援に関わる交流会や会議等への出席)	35
(5) 事業5: 情報発信(視察研修)	36
(6) 事業6: 情報発信(講演会等)	37
(7) 事業7: 情報発信(イベント出展等を通じた情報発信)	38
(8) 事業8: 情報発信(ホームページを通じた情報発信)	39
(9) 事業9: 災害復旧支援(国内での災害発生時の緊急対応)	39
(10) 事業10: 維持管理(現地訪問、打ち合わせ等)	40
(11) 事業合計.....	41
7. 最後に	45
III. 補足資料.....	46
1. 活動の様子.....	46
2. 活動日程(計画、一部抜粋、状況により変更もあります。)	47



I. 当会について

当会は、ボランティアとして2011年5月より岩手県に3分の1、宮城県に3分の1、そして福島には個人で3分の1として福島応援の活動を進め、2011年10月より福島応援隊として有志の応援をいただき活動をさらに一歩前に進め、2012年1月11日に“kfop”を設立しました。

活動に当たっては、設立前の約半年間、福島にボランティアバスを出すべく、事前準備を進めましたが、福島へバスをなかなか出していただけられない現実、ボランティアバスを出すことへの理解がなかなか得られない現実、活動に理解がなかなか得られない現実がありました。そんな環境の中、バスは横浜の『シティアkses株式会社』様に出していただきました。活動先はスタッフ含め現地へ赴き、受入れ調整をさせていただきました。

設立当初の2012年度の主な活動としては

①現地活動

- ・福島市の福島市社会福祉協議会募集のボランティア（渡利地区、大波地区）。
- ・福島市の任意団体の復興応援活動（借上住宅・近隣にお住まいの皆様、応急仮設住宅に）。
- ・南相馬市の鹿島区社会福祉協議会募集による小高区での屋外活動（山側、海側、街中）。
- ・南会津での大熊町の子ども達を対象とするイベント支援活動。
- ・最終の福島12便は、福島復興プロジェクトチーム「花に願いを」、で活動。

②県内活動（神奈川県内での活動）

- ・神奈川県内に避難を余儀なくされている皆様へのお手伝い、避難されている方々の気持ちは私達には充分には分からないかも知れませんが、少しでも近づければ、との気持ちで。
- ・かながわ東日本大震災県内避難者支援ネットワークに協力し、弁護士よろず相談会。
- ・同、町別（浪江町、双葉町、富岡町、楡葉町、大熊町）交流会。
- ・同、また共催し「ふるさとコミュニティ in かながわ」の県内全体の交流会。
など、活動および協力ができました。

③当会の応援者は

2012年1月末時点で48名、2013年3月末に置いては167名（内会員は119名）と多くの方に応援をいただくことができました。2017年3月末の登録メンバーは292名。

2012年度から、**2016年度**までの活動履歴は当会HPに掲載しています。

2017年度も継続し、福島の応援を続けていく。

ご参加いただきました皆様、応援をいただきました皆様、寄付をいただきました皆様、支援金をいただきました皆様、そして私達を受入れてくださいました現地の皆様、交流会にお越しいただきました避難されている皆様（県外からもお越しいただきました）、同じく交流会にご協力をいただきました行政の皆様、に感謝いたします。

かながわ「福島応援」プロジェクト
代表 渡辺孝彦



1. 設立趣旨書

(1) 趣旨

2011年3月11日に地震と津波による被害を受けた東京電力第一原子力発電所では、全電源を喪失して原子炉の冷却ができなくなり、大量の放射性物質放出を伴う重大な原子力事故に発展した。これにより浜通り地域を中心に、周辺地帯の住民は長期の避難と、福島県の住民へのいわれなき差別、いじめ、風評被害、観光の打撃と、今現在においても大きな苦難を強いられています。

かながわの「かながわ東日本大震災ボランティアステーション」では岩手県・宮城県に向けて活発な支援が続けられていますが、福島県への支援は今なお実現していません。また、福島県は今もなお復旧に至らず、復興ままならない状況下にあります。

その中、福島県に住んでいる方々、福島県から避難される方それぞれの方へ応援をしたい。神奈川県から「福島を応援する」その主旨で、かながわ「福島応援」プロジェクトを設立するものです。

(2) 活動

- ①直接活動（家屋内外の片付け、街中掃除、仮設訪問、子ども達支援等をしていきたい）
- ②県内支援（神奈川県内、関東圏に避難されている方へのお手伝い）※¹
- ③情報発信（福島県での活動、観光情報、温泉情報、特産物情報、など発信したい）
- ④災害復旧支援（地域を特定せず、台風や豪雨等の自然災害による甚大被害が発生したとき、現地の要請に基づきその復旧支援等を行う。）※²

を行い、今までと同じように笑顔があふれ、子ども達も楽しく・のびのびと遊んでいる福島県であることを願い活動を展開し、また、神奈川県から応援の輪を広げるために、多くの方の参加者を募り活動していきたい。

※1：②の県内支援活動は設立当初はなく、私達は現地福島に直接行きお手伝いする、神奈川県内に避難されている方のことは神奈川県に住む方で応援してほしい。その思いでありましたが、県内での応援もまだまだ十分ではなく、必要、と感じ活動を追加したものです。

※2：④の災害復旧支援は平成27年台風第18号を受け2016年度に明確化した。

(3) 経緯

- ①2011.10.11 ボラスト※³のボランティア活動と平行して活動を開始（発起）
- ②2011.10.29 ボラストのボラバスチームメンバー参加により福島市ボランティア参加
- ③2011.12.28 スタッフ含めた参加者の募集、本格設立へ行動（36人が賛同）
- ④2012.01.09 初会合（賛同出席者16名）
- ⑤2012.01.11 設立日とする。

※3：ボラストとは「かながわ東日本大震災ボランティアステーション」のこと。

2011.10.11

かながわ「福島応援」プロジェクト
設立代表 渡辺 孝彦



2. 活動内容

かながわから福島を応援します。

任意団体として、直接活動、情報発信とできることを少しずつでも進めます。

(1) 現地活動

福島県から避難される方、避難されている方、福島県に住む方の支援を現地で直接行う。
他団体へ参加、連携を含めて福島復興、元気につながる活動を行う。

- ①県民が生活される場の街中掃除等ボランティア活動
- ②仮設住宅に住まわれている方へのボランティア活動
- ③学校、子どもさん、妊婦さん達へのボランティア活動 など。

(2) 県内活動

神奈川県および近郊に避難されている方の交流会、お手伝い。および被災地自治体、団体・神奈川県内の自治体、団体とのつなぎ手として支える活動を行う。

(3) 情報発信

福島県でのボランティア活動、観光情報、温泉情報、特産品情報など「現地活動」「視察研修」「講演会」「美味しいふくしま伝え隊」などを通して福島の元気に、笑顔につながる情報を発信する。

(4) 災害復旧支援

地域を固定せず、台風や豪雨等の自然災害による甚大被害が発生した際には、現地の要請に基づきその復旧支援等を行う。

そして、今までと同じように笑顔があふれ、子ども達も楽しく・のびのびと遊んでいる福島であることを願います。

さらに、神奈川から支援の輪が広がり、多くの方に福島を訪れていただけることを願います。



3. 活動方針

(1) 長期的方針

私達は、東日本大震災と東京電力福島第一原発事故によりいまだ大きな苦難の中にある福島を長期にわたって応援し続けるために、持続可能な事業計画と予算計画を立てて団体としての活動を維持します。

いずれの活動についても、当事者の方々が必要とする支援や環境は時間とともに変化します。特に相双地域では今後数年以内に避難区域の解除が進み、様々な課題が発生してくると見られます。そうした変化を把握し、柔軟に対応できる体制、予算的な余裕、他団体とのつながりも必要です。

その一貫として、現地の状況を把握するための情報収集、現地の行政や民間団体とのつながりの維持を目的とした現地訪問や会議への参加も積極的に行います。

同時に、神奈川をベースとしながら長期的に現地に関わっていける連携先も模索していきます。

(2) 当会は、粛々と活動を行っていきます。

何が無くても福島に行く、その心づもりが基本となります。

- ・福島の復旧・復興を願う。
- ・福島の観光・温泉・果物・農産物などの応援をする。
- ・福島の子ども達、避難を余儀なくされている皆様に少しでも応援になることをする（重きを置くこと）。

(3) 福島の活動においては、ご家族の理解も得て行おう。

(4) また、スタッフ、参加者ともに無理はしない

- ・できることを
- ・できるときに
- ・できる範囲で

(5) 活動のすべて

- ・kfop 日程表、プロフィール、活動内容、設立趣旨、本会規約、事業計画、活動履歴、会員募集、ご寄付、会計（事業会計・会計報告）
- ・ボランティア募集情報
- ・活動様子

など、すべての情報を、当会の HP で公開する。
長く福島の応援を続けることができるために。



かながわ「福島応援」プロジェクト (kfop)
 ≪2016年度(H28)活動実績・2017年度(H29)活動計画≫

4. 活動実績

(1) 現地活動

年度	活動先	実施回数	参加者数
2011年度	福島市大波地区ボランティア	6回	29名
2012年度	福島市渡利地区ボランティアバス	3回	57名
	福島市復興応援ボランティアバス	6回	155名
	南相馬市小高区ボランティアバス	2回	67名
	会津若松市(大熊町)ボランティア	1回	6名
	福島市「花に願いを」ボランティアバス	1回	22名
2013年度	福島市渡利「花見山公園」花見バス	1回	23名
	福島市「花に願いを」ボランティアバス	10回	130名
	静岡県西伊豆町水害ボランティアバス	2回	21名
	南相馬市小高区ボランティアバス	6回	99名
2014年度	福島市渡利「花見山公園」花見バス	1回	17名
	福島市「花に願いを」ボランティアバス	2回	4名
	南相馬市小高区ボランティアバス	10回	159名
	福島県内応急仮設住宅等訪問	4回	5名
2015年度	視察研修便(富岡町、大熊町)	2回	37名
	南相馬市小高区ボランティアバス	10回	160名
	川内村訪問・支援活動	1回	6名
	現地自治体等訪問(現地訪問)除く講演依頼等	1回	2名
	双葉郡未来会議	1回	2名
2016年度	南相馬市小高区ボランティアバス	8回	129名
	視察研修便(双葉町、浪江町)	2回	41名
	その他現地活動(含む有志野馬追)※事業外	4回	13名
	災害復旧支援(発生時)	0回	0名
	現地自治体等訪問(維持管理)除く講演依頼等	1回	2名
合計		85回	1,187名
2017年度 (計画)	南相馬市小高区ボランティアバス(バス便)	6回	96名
	南相馬市小高区ボランティア(広域便)	4回	36名
	視察研修便(川内村・葛尾村)	1回	20名
	現地自治体等訪問(維持管理)	4回	8名
	その他現地活動(相双ボラ、野馬追等)※事業外	5回	18名
	災害復旧支援(発生時)	0回	0名



かながわ「福島応援」プロジェクト (kfop)
《2016年度(H28)活動実績・2017年度(H29)活動計画》

(2) 県内活動

年度	活動先	実施回数	参加者数
2012年度	第1回「ふるさとコミュニティ in かながわ」	1回	協力
	第2回「ふるさとコミュニティ in かながわ」	1回	共催
	町別交流懇談会・”しゃべりば”・弁護士相談会	22回	協力
2013年度	第3回「ふるさとコミュニティ in かながわ」	1回	共催
	第4回「ふるさとコミュニティ in かながわ」	1回	共催
	町別交流懇談会・お茶っこ会	12回	協力
2014年度	第5回「ふるさとコミュニティ in かながわ」	1回	共催
	第6回「ふるさとコミュニティ in かながわ」	1回	共催
	町別交流懇談会・お茶っこ会等	20回	協力
2015年度	特定非営利法人かながわ避難者と共にあゆむ会	各回	各人
2016年度	特定非営利法人かながわ避難者と共にあゆむ会	各回	各人
2017年度 (計画)	特定非営利法人かながわ避難者と共にあゆむ会	各回	各人

(3) 情報発信

ホームページ (<http://kfop.jimdo.com/>) および kfop メーリングリストで福島情報を発信中



かながわ「福島応援」プロジェクト (kfop)
 ≪2016年度(H28)活動実績・2017年度(H29)活動計画≫

5. 組織概要

	会議体	目的
(1)	総会	総会は年1回開催。 役員・正会員にて、活動報告、活動計画などの運営を決議する。
(2)	定例会	定例会は都度開催。開催日は定例会で決め議事録とする。
(3)	臨時総会 臨時定例会	臨時総会、臨時定例会は役員が必要と認めたとき、代表が招集する。

6. 会員制度

	会員項目	役割	年会費
(1)	正会員	入会時、および次年度以降は年1回、会費を納入しなければならない。正会員より総会にて役員を選出する。	2,000円/1口以上
(2)	一般会員	正会員以外で本会の活動を支援する会員とする。	なし
(3)	賛助会員	財政支援の個人・団体の会員とする。入会時、および次年度以降は年1回、会費を納入しなければならない。	1,000円/1口以上
(4)	登録メンバー	情報発信のために、過去活動参加された方など、当会のMLに登録されている方。	なし

①会員、登録メンバーは当会のMLに登録のうえ情報を発信させていただきます。

②正会員会費は2016年度に2,000円/一口以上とした。

③会員番号 kfx9999

k	Kanagawa
F	Fukushima
X	0: 正会員 (A: 内ふくしま応援隊)、1: 一般会員、3: 賛助館員、9: 登録メンバー
999	一連番号 (001~999)

7. 団体登録先・情報登録先

登録先	登録内容・登録日等
かながわ県民活動サポートセンター	利用団体 (2012. 01. 27 登録)
特定非営利法人 かながわ避難者と共にあゆむ会	正会員 (2017. 04. 11 更新)
NPO 法人 ボランティアインフォ	ボランティア情報登録 (都度)
東日本大震災支援全国ネットワーク (JCN)	会員団体 (2016. 02. 19 申請)
ふくしま連携復興センター	準会員 (2016. 02. 29 承認)
CANPAN FIELDS (団体 ID: 1032639997)	団体登録 (2016. 06. 01 登録)



8. ご寄付

寄付専用口座を持ち、HP 掲載にて広く一般からの寄付（寄付・支援金・助成金）を受け入れる。ご寄付・支援金・助成金は、すべて HP に掲載し、その使途もすべて会計の HP に掲載する。

《ご寄付・支援金等実績》

年度	項目	金額	ご寄付・支援元
2012 年度	寄付	403,822 円	一般の方からの寄付（お名前は HP 掲載）
	助成金（寄付）	300,000 円	一般財団法人 神奈川県建築安全協会 様
2013 年度	寄付	472,571 円	一般の方からの寄付（お名前は HP 掲載）
	支援金（寄付）	300,000 円	リコー社会貢献クラブ・FreeWill 様
	助成金（寄付）	500,000 円	一般財団法人 神奈川県建築安全協会 様
	支援金（寄付）	100,000 円	富士ゼロックス神奈川(株)端数倶楽部 様 富士ゼロックス神奈川株式会社様（マッチング制度）
2014 年度	寄付	253,545 円	一般の方からの寄付（お名前は HP 掲載）
	助成金（寄付）	200,000 円	一般財団法人 神奈川県建築安全協会 様
	支援金（寄付）	200,000 円	azbil みつばち倶楽部 様 アズビル株式会社 様（マッチング制度）
2015 年度	寄付	604,461 円	一般の方からの寄付（お名前は HP 掲載）
	支援金（寄付）	200,000 円	azbil みつばち倶楽部 様 アズビル株式会社 様（マッチング制度）
	支援金（寄付）	100,000 円	富士ゼロックス株式会社 端数倶楽部 様 富士ゼロックス株式会社 様（マッチング制度）
2016 年度	寄付	286,773 円	一般の方からの寄付（お名前は HP 掲載）
	支援金（寄付）	200,000 円	azbil みつばち倶楽部 様 アズビル株式会社 様（マッチング制度）
	支援金（寄付）	100,000 円	富士ゼロックス株式会社 端数倶楽部 様 富士ゼロックス株式会社 様（マッチング制度）
	賛助金	30,000 円 (30,000 円)	シティアクセス株式会社 様 (azbil みつばち倶楽部 様)
	寄付（一般）	5,000 円	初参加者向け用 目的別寄付
	寄付（一般）	51,200 円	最少定員未達時用 目的別寄付



9. 大会運営

(1) 定例会・管理事項等

定期開催	かながわ県民センター	11F 会議室など
議事録	議事録作成・管理	電子ファイルで保管
会計監査	年度末に内部会計監査実施	
寄付・寄贈	HP ですべて掲載	ご寄付のページ
会計	HP ですべて掲載	会計報告のページ

(2) 安全対策など

ボランティア活動保険	活動参加者の加入を確認	参加申込時
行事保険	行事实施時に加入	必要都度加入
活動マニュアル	活動場所ごとに作成	電子ファイルで保管
行程表	活動・行程表を都度作成	電子ファイルで保管
仮眠所	運転手仮眠所確保	各、現地で確保

(3) 教育関係（自主受講済み事項、ボランティアの一部スキル）（役員）

環境省 水・大気環境局除染等業務に係る特別教育	渡辺孝彦、村上幸
除染等業務作業指揮者教育	村上幸
労働安全衛生法による安全衛生教育（刈払機）	渡辺孝彦、東尚子、村上幸、私市慎治
労働安全衛生法による特別教育（チェーンソー）	渡辺孝彦、村上幸
赤十字救急法 救急員	東尚子、村上幸
労働安全衛生法による特別教育修了 （小型車両系建設機械）	村上 幸(2014.05.25 追加) 私市慎治(2015.08.23 取得)
防災士（NPO 日本防災士機構）	東 尚子(2015.03.19 追加) 村上 幸(2015.12.25 追加)

（注）掲載は一部（抜粋）

(4) 保有備品（個人保有を除く）

TERRA-P	4台（購入）（活動時の計測管理）	参加者用
TERRA-N	6台（購入）（活動時の計測管理）	参加者用
メディキタス CK-6	9台（寄贈）（活動時の積算管理）	参加者用

（注）活動参加時の計測、積算を記録します。



II. 2016年度活動実績(平成28年度)

1. 福島の問題

2016年3月11日は東日本大震災から5年目である。

5年目を一つの区切りとして、避難元自治体、避難先自治体、そして支援者も大きく変わっていき部分がある。福島は変わらずに、これからである、と思う。

当会として、長期的観点、2016年度の活動を10の事業とし進める。

2. 活動方針

私達はボランティアである。

- ・活動できる場所であることの判断(安全判断)
- ・活動するうえで必要とする知識(安全知識)
- ・活動するうえでの現地受入団体の長との情報交換(安全の担保)

を行い、活動を進める。

また、現地との情報交換も行い、現地のニーズにて活動を進める。

活動のためのニーズ作りは行わない。ただし、現地との関わりは長く続けていきたい。

3. 活動目的

(1) 現地活動

直接現地に行き、現地が必要とすることのお手伝いをする。

神奈川には分からないことがたくさんある、福島に行き福島を知り、当会は活動を続けていく。

(2) 県内支援

神奈川に避難されている方々に神奈川の団体と協力し寄り添っていく。

また、広域は避難者情報を把握し、福島全体の動きをつかみ、広域な避難者支援を行う。

(3) 情報発信

避難区域の今を、現地に行き福島に関わるものとして知って活動を行う。

大規模ではなくても現地の方を招きミニ講演会などを継続し、神奈川に福島を伝える

また、当会自身の活動も伝え、そして福島で頑張っている方の商品も紹介し福島を伝えていく。

(4) 災害復旧支援

災害ボランティア団体として、自然災害等大規模災害が発生したとき、災害復旧支援を行えることを事業として明確にした。

(5) 維持管理

現地(行政・社協・地元の団体)を訪問し、つながりを維持する。



4. 全体事業実績（概要）

福島活動の3つの柱である直接活動（福島県内での活動）、県内活動（神奈川県内での活動）、情報発信を中心とし10の事業とし、以下に活動（事業詳細）を行った。

事業詳細		上段：計画 / 下段：実績（詳細は各事業で説明）
事業1 (ボラバス)	計画	毎月1便（除く5月,10月,1月）、参加者（定員）19名／各南相馬市小高区で継続活動を行う。
	実績	○ <u>おおむね計画どおり実施。</u> 計画171人/9便に対して129人/8便の実績。2月便で参加者が集まらず初めて中止に至った。
事業2 (広域活動)	計画	4回／年計画、参加者（定員）6名／各回自家用車等による応急仮設住宅の訪問や現地ニーズ活動を行う。
	実績	△ <u>当初の計画が不十分。</u> 主に個人ベースで活動の下地を重ねた。相応の関係が築けた。次年度以降に活かしていく。
事業3 (避難者支援)	計画	あゆむ会との事業連携
	実績	× <u>十分なコミュニケーション確保に至らず。</u> 次年度改善へ。
事業4 (広域支援)	計画	関東の避難者グループや支援団体が集まる支援者会議などへの出席を行い、広域支援を行う。
	実績	△ <u>当初の計画が不十分。</u> 双葉郡未来会議（3回）、相模原市社協交流会、JCN福島MTGへメンバーSkype参加等。
事業5 (視察研修)	計画	年に2回、参加者20名／各回避難区域の自治体を訪問する。参加者報告を情報発信に活用する。
	実績	◎ <u>計画どおり実施。</u> 参加者41名/2回。実施報告の遅れの課題あり。タイムリーに報告をまとめてフィードバックが必要。
事業6 (講演会等)	計画	年に2回、参加者40～60人／各回福島から講師を招き会員の参加を促し一般の方へのPRも行う。
	実績	◎ <u>計画どおり実施。</u> 6月参加者33人、懇親会11人、1月参加者94人、懇親会42人。多くの方に関心を寄せていただいた。
事業7 (情報発信)	計画	市民活動フェアなど費用対効果が見込めるイベントへの参加を通じて、活動紹介や現地の特産品の紹介などを行う。
	実績	○ <u>計画どおり実施。</u> 実施方法は今後の課題。
事業8 (HP情報発信)	計画	現地の観光情報や物産情報を発信し福島応援を促す。
	実績	△ <u>都度情報発信。</u> 周知・効果は改善の余地あり。
事業9: (災害緊急対応)	計画	国内で大規模な自然災害等が発生した場合に災害復旧支援
	実績	一 <u>個人参加とした。</u> 熊本地震2016年4月14日21時26分
事業10 (地訪問等)	計画	現地の行政や民間団体とのつながりの維持を目的とした現地訪問
	実績	△ <u>十分に行えなかった。</u> 維持管理を目的として来期継続し動く。

(補足) 有志活動として、2016.7.23-25に相馬野馬追観戦参加。

2016.11.9は「美味しいふくしま伝え隊」として復興バーに参加した。



5. 事業実績詳細

(1) 事業1 ボラバス

①現地課題

南相馬市は平成28年度の避難解除を進めている、その中で地元での家屋内外での必要とされるニーズは多くある。必要とされる中、2016年度も継続してお手伝いをしていく。

高齢の方、避難している中、当事者だけでは片付けはできない、福島に軸を置き、復旧・復興へできることのお手伝いを継続していく。 【課題1】

②活動目的

南相馬市小高区の復旧へ家屋内外の片付けなどお手伝いをしていく。

③活動結果

2016年7月12日に南相馬市小高区は避難指示解除された。

現地、南相馬市災害復旧復興ボランティアセンターの活動が継続され、当会も継続して活動に参加させていただいた。また、来期末まで受入れがあるとの決定がなされ、2017年度も継続して参加させていただく。

④活動実績

上下	計画	実績	
		実施日	回数
上期	南相馬ボラバス毎月1便(5便)	4月,6月,7月,8月,9月実施	5回
下期	南相馬ボラバス毎月1便(4便)	11月,12月,3月実施	3回

⑤予算実績(単位:円)

収入			支出		
項目	計画予算	実績	項目	計画予算	実績
参加費(バス代)	1,728,000	1,640,000	旅費交通費	2,524,068	2,240,785
参加費(初参加者)	352,800		(バス代,リカー代,仮眠所代,高速代,他)		
繰越金(寄付)	130,212	130,212	支払手数料	1,944	1,728
繰越金(目的寄付)	115,000	115,000	-	-	-
新規寄付(目的寄付)	200,000	226,200	-	-	-
合計	2,526,012	2,111,412	合計	2,526,012	2,242,513
収支	-	-	-	-	▲131,101

(補足1) 参加費は、一人12,800円(バス代充当) / 初参加者は9,800円

(補足2) 収支の不足分は、全体収支で他の事業費を充当した。

⑥参加者の声(一部)

- これからもニーズがあるのだろうと強く思った。ボランティアだけでなく、旅行でも南相馬に来てほしい。避難指示解除後初めてきて、洗濯物が干してあるのに感激した。福島69便(南相馬38号)参加者。
- まだまだ人の手が必要なこと。知らないことがたくさんあると実感しました。自分自身ももっと知ろうと、まわりの人にももっと少しでも知ってもらえるよう伝えていきたいと思います。福島61便(南相馬32号)参加者。



(2) 事業2：現地活動（ボランティアバス以外の自家用車等による広域活動）

①現地課題

平成29年度の6年目に向け、避難指示解除が進んでいく、今まで人が入れなかった町、所、国が直轄で復旧に当たってきた。

今後、地元自治体、民間の動きが出てくるであろう、当会として町域観点も視野に入れ、地元の方々とのつながりを作り、維持し、必要とされること、復旧・復興のへお手伝いをしていく。 【課題2】

②活動目的

区域を特定せず、福島全域での活動、関わりを続ける、今後の避難区域解除の動きもあり、必要とすることのお手伝いをしていく。

③活動結果

現在までの活動での現地とのつながりから個人参加を含めて古殿町（田植え）、相馬野馬追観戦（南相馬市）、双葉郡未来会議（葛尾村・広野町）、相双ボランティア（富町岡、浪江町）に参加させていただいた。

現地とのつながりは大切である。訪問、活動参加など今後も進めていく。参加者の個人的つながりになることも期待したい。

④活動実績

上下	計画	実績	
		実施日	回数
上期	3回、日程は調整し進める	7月30日	1回
下期	3回、日程は調整し進める	11月12日,13日	2回

⑤実績（単位：円）

収入			支出		
項目	計画予算	実績	項目	計画予算	実績
参加費	384,000	実費個人	旅費交通費	584,000	44,338
繰越金（会費）	100,000	100,000	（高速代,宿泊代,ガソリン代,他）		
新規会費	100,000	100,000	諸会費、雑費	0	3,928
合計	584,000	200,000	合計	584,000	48,262
収支	-	-	-	-	151,738

（補足）有志、個人参加の参加費と宿泊費の実費は個人負担

⑥参加者の声（一部）

- ・相馬野馬追参加：当会主催の講演会「南相馬市の今」のご縁で、野馬追を楽しめたこと、このようなご縁があり、また新しいご縁がつながることに感謝しています。
- ・ふるさと未来創造会議（葛尾村）：山々に囲まれ、自然豊かで空、山、川が綺麗な村である。どのように復興していくか、関われることの応援があれば、応援していきたい。
- ・相双ボランティア参加：事前の募集情報で参加させていただいた。参加者は8名。浪江町役場駐車場に集合し、歩いてすぐの民家の不要品分別・搬出、庭の草刈りをお手伝いした。家主（女性）と息子さんが立ち会われた。



(3) 事業3：県内活動（他団体との連携による避難者支援）

①課題

神奈川県に避難されている方の支援を継続する。5年が経ち環境は変わらず、悪化と混乱がさらに続くことが予見され、避難されている方々の声に耳を傾け、地道に寄り添い、共に進んでいくことが大事な時期となり、福島と神奈川をつなぐ当会として引き続き協力していく。

また、当事者の方々が自主的に動いていかれることも願う。

【課題3】

②活動目的

あゆむ会の活動と共催・協力し、神奈川に避難されている方々に寄り添っていく。

③活動結果

実施日が当会活動日程と重なる日が多いことと、あゆむ会の独自運営の方向もあり、当会としては個人参加ベースでの協力を留まった。ない、南相馬市主催の交流懇談会では南相馬市から会場の調整などの相談があり、協力を継続している。

来期も協力依頼を受け活動また個人ベースでの参加を進めていく。

④活動実績

上下	計画	実績	
		実施日	回数
通期	ふるさとコミュニティ in かながわ(共催)	個人で参加	—
	町別交流会(協力)	個人で参加	—
	各地区支援団体間交流事業(全般)(協力)	個人で参加	—
	支援団体交流事業 (全般)(協力)	個人で参加	—
	全般(協力) 南相馬市懇談会	6/11,10/29,12/17 他	3回

⑤予算実績（単位：円）

収入			支出		
項目	計画予算	実績	項目	計画予算	実績
繰越金（寄付）	30,000	30,000	諸会費	10,000	10,000
			雑費	20,000	108
合計	30,000	30,000	合計	30,000	10,108
収支	-	-	-	-	19,892

（補足）諸会費：あゆむ会団体会員の会費納付

⑥参加者の声（一部）

- ・南相馬市より南相馬市交流懇談会の会場等の相談を継続していただいた。kfop としてというよりはあゆむ会が主体であるが、当会の現地との「つながりを進める」ことの一つとして、良いつながりであり。今後ももそのつながりは大事にしていきたい。

(4) 事業4：県内活動（広域避難者支援に関わる交流会や会議等への出席）

①課題

5年を節目とし、住宅支援の打ち切り、平成29年度の避難指示解除の動きに伴う様々な課題がさらに続く、情報の把握は必要である。

広域支援の視野に立ち、情報の収集、避難者支援団体等の会議へ参加など、福島に関わるものとして、視野を広げ関わっていく。 【課題4】

②活動目的

広域な避難者情報を把握し、福島全体の動きをつかみ、広域な避難者支援を行う。

③活動結果

相模原市南区社協関連の交流会・食事会（地元の中華料理店）、浴衣着付け（相模女子大）、JCN ミーティング「や・ゆ・よ」への Skype 参加など、関東でできることを進めた。

なかなか時間のない中での活動であるが、今後も関わっていく。

④活動実績

上下	計画	実績	
		実施日	回数
通期	年3回、会議等出席する	8/11,2/3	2回

⑤予算実績（単位：円）

収入			支出		
項目	計画予算	実績	項目	計画予算	実績
繰越金（会費）	100,000	100,000	旅費交通費	120,000	0
新規会費（要調達）	20,000	20,000	印刷製本費		2,100
合計	120,000	120,000	合計	120,000	2,100
収支	-	-	-	-	117,900

⑥参加して

- ・相模原市南区交流会：過去参加の経緯から今回もお声掛けいただきメンバー2名で参加した。南区の地元で長年支援されている方の中華屋さんで交流と昼食会、また同じく関わりのある相模女子大で着付けと写真撮影のプレゼントにも参加させていただいた、つながりによりお声掛けいただくことに感謝する。
- ・JCN ミーティング「や・ゆ・よ」：主催の方からお声掛けがあり Skype で参加させていただいた。昨年11月12日の双葉郡未来会議で話題に挙がった「双葉郡に市民活動をサポートする中間支援組織を創りたい」というテーマを受けて、関心のありそうな人に声を掛け、今後の方向性を探る内容。そのとき出席していた流れで当会メンバーにもお声掛けいただいた。具体的なプランも提示され、双葉郡未来会議の部会の1つとして、まず「準備室」を立ち上げたいとの意向が示されている。今後もミーティングなどにお声掛けいただくようお願いしている。



(5) 事業5：情報発信（視察研修）

①課題

現地をまだまだ知らないところがある、また神奈川に伝えていかないとならない。

- 今までの活動のつながりを活かし、浜通り地区の視察研修を町の協力もいただき。①東日本大震災と原発事故の『風化』をさせない。②地元の現状、今を『正しく知る・伝える』。③自分達にできることを『考える』を継続する。次年度は既に解除地域を進める。

【課題5】

②活動目的

避難区域の今を、現地に行き福島に関わるものとして知って活動を行う。

③活動結果

今年度も計画の二回を実施することができ、参加者にも見て、聞いて知って、体験もしていただき有意義な活動と感じた。

課題は、調整・事後対応へのマンパワーである。特に事後では活動後の報告の取りまとめに長い時間が掛かってしまっている。メンバーの協力も受け改善を図っていきたい。

来期は年2回を1回としてできる範囲で続けていく。

④活動実績

上下	計画	実績	
		実施日	回数
上期	5月（双葉町視察研修）	5月	1
下期	10月（浪江町視察研修）	10月	1

⑤予算実績（単位：円）

収入			支出		
項目	計画予算	実績	項目	計画予算	実績
参加費	764,000	843,622	旅費交通費	853,800	809,587
繰越金（寄付）	28,587	28,587	印刷費	20,000	8,398
繰越金（会費）			保険料	8,000	4,000
新規寄付（要調達）	89,645	89,645	支払手数料	432	1,134
新規会費（要調達）	0		会議費	-	630
新規助成金	0		通信運搬費	-	4,820
新規支援金	0		消耗品費	-	435
			諸会費	-	37,262
			雑費	-	23,657
合計	882,232	961,854	合計	882,232	889,923
収支	-	-	-	-	71,931

⑥参加者の声（一部）

- ・身体を使ったボランティアも大切であるが、「知る」ということの重要性をととても感じました。行政の方々からの説明をもっと聞いてみたいです。（報告書あり）



(6) 事業6：情報発信（講演会等）

①課題

神奈川から多くのボランティアが福島に足を運んでいる、まだまだ、神奈川県内への情報発信は当会としては十分にできていない。

2015年度に初めて大規模な講演会および意見交換会を実施した。パワーの限界も含め小規模な講演会も有効であり、可能な中で福島の方を招き、神奈川に発信を継続していく。

【課題6】

②活動目的

大規模ではなくても現地の方を招きミニ講演会などを継続し、神奈川に福島を伝える

③活動結果

現地の方を招き神奈川の方に福島の今を知っていただき、それぞれにできることを考えていく機会の場合として有意義であると考え。さらに多くの一般の方に足を運んでいただくことも今後の課題として考えていきたい。続けていく。

④活動実績

上下	計画	実績	
		実施日	回数
上期	1回	6/22 鶴見公会堂	1
下期	1回	1/14 県民センター2階ホール	1

⑤予算実績（単位：円）

収入			支出		
項目	計画予算	実績	項目	計画予算	実績
繰越金（会費）	162,557	162,557	旅費交通費	212,000	119,659
新規寄付	101,443	101,443	印刷費	12,000	9,869
協賛金		60,000	会場費	20,000	6,740
参加費（懇親会）		60,000	諸謝金	-	91,938
			源泉徴収額	(納税済) -	2,042
			通信運搬費	-	3,843
			支払手数料	-	972
			雑費	(懇親会)	59,880
			支払寄付金	(懇親会残)	120
			雑費	-	14,016
合計	264,000	384,000	合計	264,000	309,079
収支	-	-	-	-	74,921

⑥参加者の声（一部）

- ・勇気がわいてくるようなお話でした。怒りや悲しみを受け止めて前向きカネ子さんの力強さにこちらが励まされました。(30代 女性)
- ・とても勉強になりました。そして元気を頂きました。ありがとうございました。(20代 女性)



(7) 事業7：情報発信（イベント出展等を通じた情報発信）

①課題

当会の存在は、神奈川にもまだまだ知られない存在である。福島を発信するとともに当会の活動も知っていただき、そこから福島へとつながってほしい。そして福島で頑張っている方々の商品なども紹介し、一人でも多くの方に関心を持ち続けていただく。

かながわ県民センターで開催される市民活動フェアを活用し、発信していく。【課題7】

また、有志活動として、2015年度に初めて一日マスターとして参加した復興バーに「美味しいふくしま伝え隊」の名称で参加し、福島の美味しいものを伝えていく。

②活動目的

当会の活動も伝え、そして福島で頑張っている方の商品も紹介し福島を伝えていく。

③活動結果

市民活動フェアで当会のブースに足を運ばれ、当会の活動を知っていただき、後に現地活動にも参加していただいた方もあり、少しではあるが有効。また、福島の食も知っていただくことができた。

課題は運営面にあり、可能な範囲で続けていきたい。

④活動実績

上下	計画	実績	
		実施日	回数
通期	1回実施	3/11-12	1

⑤予算実績（単位：円）

収入			支出		
項目	計画予算	実績	項目	計画予算	実績
繰越金（寄付）	0	0	印刷費	3,000	0
繰越金（会費）	50,000	50,000	雑費（仕入）	50,000	42,932
新規寄付	60,000	60,000	雑費（販売）	-	-42,932
新規会費			支払負担金	2,000	2,000
新規助成金			送料	5,000	-
			旅費交通費	50,000	-
合計	110,000	110,000	合計	110,000	2,000
収支	-	-	-	-	108,000

※別途寄付金：5,608円は寄付口へ入金

⑥参加者の声（一部）

- ・ボランティア活動へは誰でも参加できるのですか？と参加したい旨話あり。
- ・ご家族の出身が小高区の方が菓子工房わたなべの菓子を購入された。
- ・新潟の方が懐かしいとおくやの豆を買われた。
- ・凍天をしらない、食べたことがないという方が多くいた。



(8) 事業8：情報発信（ホームページを通じた情報発信）

①課題

観光情報を含めて、福島を広く広報することも必要、季節ごと、目的ごと様々な情報を定期的に発信し、一度行って見ようかな、につながる発信を継続していく。【課題8】

②活動目的

福島の色々なことを定期的に発信していく。

③活動結果

都度、福島の情報を発信している。

今後の課題としては、伝わること、またどれだけの方に伝わっているか。である。

④活動実績

上下	計画	実績	
		実施日	回数
通期	都度（月に一度情報発信）	都度	15回

⑤予算実績（単位：円）

収入			支出		
項目	計画予算	実績	項目	計画予算	実績
特になし	0	0	なし	0	0
合計	0	0	合計	0	0

(9) 事業9：災害復旧支援（国内での災害発生時の緊急対応）

①課題

2015年度に台風18号等大雨による大規模な災害が発生した、当会も災害ボランティア団体である。その活動を明確にし進める。【課題9】

②活動目的

自然災害等大規模災害の発生時に要請に基づき復旧支援を行う。

③活動結果

熊本地震は費用面から現地活動参加は個人参加とした。また、個人で参加の方から情報を提供いただき、メーリングリストでその発信を行った。

④活動実績

上下	計画	実績	
		実施日	回数
通期	1回実施	-	0

⑤予算実績（単位：円）

収入			支出		
項目	計画予算	実績	項目	計画予算	実績
参加費	200,000	0	旅費交通費	200,000	0
合計	200,000	0	合計	200,000	0



(10) 事業 10：維持管理（現地訪問、打ち合わせ等）

①課題

福島 of 各市町村、社協、民間団体等と連携するうえで、地元とのつながり維持は大切である定期的な訪問を行い、関係の維持に努める。

また、現地でないとは分からない情報も共有させていただき、活動へ活かしていく。

【課題 10】

②活動目的

現地（行政・社協・地元の団体）を訪問し、つながりを維持する。

③活動結果

現地訪問のみの目的で実施は6月の一回であるが、2回の講演会依頼、2回の視察研修調整など都合5回の訪問を行った。次年度は訪問目的を分活動して実績と予算実績に配賦し、実施実績を分かりやすくする。

現地の異動もあり顔でつなぐ目的は大きい、訪問は欠かせない、続けていく。

④活動実績

上下	計画	実績	
		実施日	回数
通期	年3回（最低）	6/27-28	1回

⑤予算実績（単位：円）

収入			支出		
項目	計画予算	実績	項目	計画予算	実績
繰越金（寄付）	51,500	51,500	旅費交通費	180,000	41,930
繰越金（会費）	96,506	96,506	印刷費	3,000	19,189
新規寄付	45,194	115,685	通信費	6,000	8,012
新規会費	20,000	20,000	支払負担金	1,200	1,200
新規助成金			消耗品費	3,000	33,888
新規支援金			雑費他	20,000	33,146
合計	213,200	212,333	合計	213,200	137,365
収支	-	-	-	-	74,968



かながわ「福島応援」プロジェクト (kfop)
 ≪2016年度(H28)活動実績・2017年度(H29)活動計画≫

(8) 事業会計実績

①活動計算書

科目	金額					
	計画	実績	計画	実績	計画	実績
	金額(小計)	金額(小計)	金額(中計)	金額(中計)	金額(合計)	金額(合計)
I 経常収益						
1. 受取会費						
受取会費	120,000	186,000	120,000	186,000		
2. 受取寄付金						
受取寄付金(一般)	316,282	386,773				
受取寄付金(目的)	200,000	286,200	516,282	672,973		
3. 受取助成金等						
受取民間助成金1		0				
受取民間助成金2		0	0	0		
4. 事業収益						
事業1収益	2,080,800	1,640,000				
事業2収益	384,000	0				
事業3収益	0	0				
事業4収益	0	0				
事業5収益	764,000	843,622				
事業6収益	0	60,000				
事業7収益	0	0				
事業8収益	0	0				
事業9収益	200,000	0				
維持収益	0	0	3,428,800	2,543,622		
5. その他収益						
受取利息		7	0	7		
経常収益計					4,065,082	3,402,602
II 経常費用						
1. 事業費						
(1)人件費	0	0				
人件費計	0	0				
(2)その他経費						
事業支払負担金	2,000	2,000				
事業諸謝金	0	91,938				
事業源泉徴収額	0	2,042				
事業印刷製本費	35,000	17,915				
事業会議費	20,000	7,370				
事業旅費交通費	4,543,868	3,214,367				
事業通信運搬費	5,000	9,063				
事業消耗品費	0	0				
事業保険料	8,000	4,000				
事業支払手数料	2,376	3,456				
事業支払寄付金	0	120				
事業諸会費	10,000	47,862				
事業雑費	90,000	100,005				
その他経費計	4,716,244	3,500,138				
事業費計			4,716,244	3,500,138		
2. 管理費						
(1)人件費						
人件費計	0	0				
(2)その他経費						
管理支払負担金		1,200				
管理印刷製本費	3,000	22,115				
管理会議費	0	0				
管理旅費交通費	180,000	41,930				
管理通信運搬費	6,000	8,012				
管理消耗品費	3,000	34,323				
管理保険料	0	0				
管理支払手数料	0	1,134				
管理支払寄付金	0	30,500				
管理諸会費	1,200	0				
管理雑費	20,000	1,998				
その他経費計	213,200	141,212				
管理費計			213,200	141,212		
経常費用計					4,929,444	3,641,350
当期正味財産増減額					-864,362	-238,748
前期繰越正味財産額					864,362	864,362
次期繰越正味財産額					0	625,614

(2017年3月31日 決算)



②貸借対照表

貸借対照表



かながわ「福島応援」プロジェクト(kfop)

2016年4月1日 ~ 2017年3月31日まで

(単位:円)

科目	金額	
I 資産の部		
1. 流動資産		
横浜BK会費口	625,614	
横浜BK寄付口	0	
仮払金	0	
流動資産合計		625,614
2. 固定資産		
固定資産	0	
固定資産合計		0
資産合計		625,614
II 負債の部		
1. 流動負債		
仮受金	0	
前受金	0	
未払金	0	
流動負債合計		0
2. 固定負債		
役員借入金	0	
固定負債合計		0
負債合計		0
III 正味財産の部		
前期繰越正味財産		864,362
当期正味財産増減額		-238,748
正味財産合計		625,614
負債及び正味財産合計		625,614

(2017年3月31日 決算)



かながわ「福島応援」プロジェクト (kfop)
 ≪2016年度(H28)活動実績・2017年度(H29)活動計画≫

③財務諸表の注記

財務諸表の注記



かながわ「福島応援」プロジェクト(kfop)

(会計期間 : 2016年4月1日 ~ 2017年3月31日まで)

1. 重要な会計方針

財務諸表の作成は、NPO法人会計基準によっています。
 資産は、口座預金(会費口、寄付口)のみ、固定資産なし。借入等の負債なし(前受、仮受を除く)

2. 事業別損益の状況

事業別損益の状況は以下の通りです。

(単位:円)

科目	事業1 ボラバス	事業2 現地広域	事業3 あゆむ会	事業4 県内広域	事業5 視察研修	事業6 講演会	事業7 市民活動	事業8 あいざせ	事業9 災害対応	事業 部門計	維持管理	合計
I 経常収益												
1. 受取会費(新規)	0	100,000	0	0	0	0	0	0	0	100,000	86,000	186,000
【事業計画】	0	100,000	0	0	0	0	0	0	0	100,000	20,000	120,000
※2. 受取寄付金(新規)	0	0	0	20,000	89,645	101,443	60,000	0	0	271,088	115,685	386,773
【事業計画】	0	0	0	20,000	89,645	101,443	60,000	0	0	271,088	45,194	316,282
※3. 受取助成金等	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
【事業計画】	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
※4. 受取目的寄付等	226,200	0	0	0	0	60,000	0	0	0	286,200	0	286,200
【事業計画】	200,000	0	0	0	0	0	0	0	0	200,000	0	200,000
5. 事業収益(参加費)	1,640,000	0	0	0	843,622	60,000	0	0	0	2,543,622	0	2,543,622
【事業計画】	2,080,800	384,000	0	0	784,000	0	0	0	200,000	3,428,800	0	3,428,800
※6. 前期繰越金(寄付)	130,212	0	30,000	0	28,587	0	0	0	0	188,799	51,500	240,299
7. 前期繰越金(目的)	115,000	0	0	0	0	0	0	0	0	115,000	0	115,000
8. 前期繰越金(会費)	0	100,000	0	100,000	0	162,557	50,000	0	0	412,557	96,506	509,063
9. その他収益	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	7	7
経常収益計	2,111,412	200,000	30,000	120,000	961,854	384,000	110,000	0	0	3,917,266	349,698	4,266,964
【事業計画計】	2,526,012	584,000	30,000	120,000	882,232	264,000	110,000	0	200,000	4,716,244	213,200	4,929,444
II 経常費用												
(1) 人件費	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
人件費計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
(2) その他経費												
諸謝金	0	0	0	0	0	91,938	0	0	0	91,938	0	91,938
源泉徴収額	0	0	0	0	0	2,042	0	0	0	2,042	0	2,042
印刷製本費	0	0	0	2,100	9,398	9,869	0	0	0	20,367	19,189	39,556
会議費	0	0	0	0	630	6,740	0	0	0	7,370	0	7,370
旅費交通費	2,240,785	44,336	0	0	809,587	119,659	0	0	0	3,214,367	41,930	3,256,297
車両費	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
通信運搬費	0	0	0	0	4,820	3,843	0	0	0	8,663	8,012	16,675
消耗品費	0	0	0	0	435	0	0	0	0	435	33,898	34,323
保険料	0	0	0	0	4,000	0	0	0	0	4,000	0	4,000
支払手数料	1,728	0	108	0	1,134	972	0	0	0	3,942	648	4,590
支払寄付金	0	0	0	0	0	120	0	0	0	120	30,500	30,620
諸会費	0	600	10,000	0	37,262	0	0	0	0	47,862	0	47,862
支払負担金	0	0	0	0	0	0	2,000	0	0	2,000	1,200	3,200
雑費	0	3,326	0	0	23,657	73,896	0	0	0	100,879	1,998	102,877
その他経費計	2,242,513	48,262	10,108	2,100	889,923	309,079	2,000	0	0	3,503,995	137,365	3,641,350
経常費用計	2,242,513	48,262	10,108	2,100	889,923	309,079	2,000	0	0	3,503,995	137,365	3,641,350
当期経常増減額	△ 131,101	151,738	19,892	117,900	71,931	74,921	108,000	0	0	413,271	212,333	625,614

(※表示項目の金額は寄付口から会費口(事業用口座)へ振替額または予定額を示す。)

3. 使途等が制限された寄付等の内訳

内容	期首残高	当期 増加額	当期 減少額	期末残高	備考
富士ゼロックス増数倶楽部 富士ゼロックス	100,000	0	100,000	0	(維持管理)※別途事業へ振替 増数倶楽部50,000円/富士ゼロックス株式会社50,000円→4/23福島61便へ充当
目的寄付 (初参加者用)	15,000	5,000	20,000	0	(事業1の目的別寄付)初参加者へ寄付 4/23福島61便:4名初参加(12,000円)、6/18福島63便:2名初参加(6,000円) 8/27福島65便:1名初参加(2,000円)に充当しました。
目的寄付 (最少定員未達用)	0	51,200	51,200	0	(事業1の寄付金)南相馬ボランティアバスの目的支援金(最少定員未達用寄付) 8/27福島65便:寄付参加2名充当。3/25福島71便:寄付2名分充当。
azbil みつばち倶楽部 アズビル株式会社	0	200,000	200,000	0	事業1福島バス、事業6講演会協賛金
シティアクセス株式会社	0	30,000	30,000	0	事業6講演会協賛金
富士ゼロックス増数倶楽部 富士ゼロックス	0	100,000	100,000	0	事業寄付(全般)
合計	115,000	386,200	501,200	0	

(2017年3月31日 決算)



6. 役員・スタッフ

(1) 役員・スタッフ

区分	役割	氏名	担当役割		
役員	代表	渡辺 孝彦	重任	兼 会計、渉外、あゆむ会副理事長	
	広報	東 尚子	重任		
			戸沢 正弘	重任	兼 会計監査
			村上 幸	重任	
			私市 慎治	再任	
		長崎 羊子	新任		
スタッフ	非役員	22名	継続	バス支援、県内支援のすべてを行う	

(2) 事業担当

事業	事業名	担当名
事業1	ボラバス担当	戸沢正弘、長崎羊子
事業2	現地広域担当	渡辺孝彦、東 尚子
事業3	あゆむ会担当	渡辺孝彦
事業4	県内広域担当	東 尚子、渡辺孝彦
事業5	視察研修担当	渡辺孝彦、東 尚子
事業6	講演会等担当	東 尚子、渡辺孝彦
事業7	市民活動担当	村上 幸、東 尚子
事業8	あいばせ福島担当	私市慎治、村上 幸
事業9	災害復旧支援担当	戸沢正弘、村上 幸
事業10	維持管理	渡辺孝彦、東 尚子
(関連事業)	美味しいふくしま伝え隊	村上 幸、東 尚子

(3) 2017年度末会員状況 (2017.3.31時点) ※2017年度会員更新前

(単位：名)

区分		総人数	女性数	男性数
正会員	0/A	62名(+8)	24名(+4)	38名(+4)
一般会員	1	118名(+10)	45名(+9)	73名(+1)
賛助会員	2	7名(+1)	4名(+1)	3名(±0)
登録メンバー	9	105名(▲5)	44名(▲12)	61名(+7)
合計		292名(+16)	117名(+5)	175名(+12)

(補足) 0内は2016年度の増減数



7. 参加者状況

(1)【事業1】ボラバス

(単位：人)

便名	実施日	参加者数	女性数	男性数
福島 61 便 (南相馬 32 号)	2016.04.22 (金) -23 (土)	17	7	10
福島 63 便 (南相馬 33 号)	2016.06.17 (金) -18 (土)	19	5	14
福島 64 便 (南相馬 34 号)	2016.07.29 (金) -30 (土)	15	8	7
福島 65 便 (南相馬 35 号)	2016.08.26 (金) -27 (土)	13	6	7
福島 66 便 (南相馬 36 号)	2016.09.23 (金) -24 (土)	17	5	12
福島 68 便 (南相馬 37 号)	2016.11.25 (金) -26 (土)	15	7	8
福島 69 便 (南相馬 38 号)	2016.12.09 (金) -10 (土)	16	4	12
福島 70 便 (南相馬 39 号)	2017.02.24 (金) -25 (土)	中止	-	-
福島 71 便 (南相馬 40 号)	2017.03.24 (金) -25 (土)	15	5	10
9 便		127	47	80

(2)【事業2】現地広域

(単位：人)

便名	実施日	参加者数	女性数	男性数
相馬野馬追 (有志)	2016.07.23 (土) -25 (日)	6	4	2
双葉郡未来会議・相双ボラ	2016.11.12 (土) -13 (日)	2	1	1
2 回、他あり		8	5	3

(3)【事業5】視察研修

(単位：人)

便名	実施日	参加者数	女性数	男性数
福島 62 便 (双葉町視察研修)	2016.05.28 (土) -29 (日)	21	10	11
福島 67 便 (浪江町視察研修)	2016.10.22 (土) -23 (日)	20	9	11
2 便		41	19	22

(4)【事業6】講演会

(単位：人)

便名	実施日	参加者数	女性数	男性数
第 2 回講演会	2016.06.22 (土)	33	-	-
第 3 回講演会	2017.01.14 (土)	95	-	-
2 回		128	-	-

(5)【事業7】市民活動フェア

(単位：人)

便名	実施日	参加者数	女性数	男性数
2017 市民活動フェア	2016.03.11 (土) -12(日)	109	-	-
1 回 (二日間)		109	-	-



8. 平成 28 年度 (2016 年度) 総括

(1) 現地活動

事業1の南相馬市小高区活動は年に9回計画し、8回実施できた。残念ながら2月便は定員に未達となり中止となった。現地では必要とされることがあるが、既に復興したのではとの声を多く聞くようになった。2017年度がボランティアバスでの活動は最後になる。そして、事業2で現地広域活動はまだまだこれからであるが、事業1に代わり今後も現地与長く関わりを続けていく。

(2) 県内支援

関東に避難されている方々の環境も段階的な避難指示解除により大きく変わる。私達が決めることではなく、避難されている方々のそれぞれの立場を尊重し、避難されている方々の想いに力になれることのお手伝いをさせていただくことが大事に進めていく。また、避難者支援の会議なども参加し必要とする情報を今後も得ていく。

(3) 情報発信

事業5の視察研修便は今年度も2回実施できた。事業6の講演会もミニ講演会と合わせて2回実施できた。活動マンパワーの関係から次年度以降は年に一度とするが地元の方々の力も借りて、神奈川に伝えるため継続していく。

次年度は主に民間の方々の力を借りて進めていく。また、有志活動の「美味しいふくしま伝え隊」、「市民活動フェア」、有志便での「相馬野馬追観戦」など、福島の情報発信も継続していきたい。

(4) 災害支援

熊本地震では遠距離でもあり当会としては個人参加、また個人で参加された方の活動の情報をメンバーへの展開を行った。もし万が一に近郊での災害が発生したときには、同じ神奈川の団体の力を借り、または協力させていただき、要請に基づき災害支援をさせていただく。団体としての力は大きい、備えておきたい。

全体として、団体としての事業1(ボラバス)、事業5(視察研修)、事業6(講演会)、事業7(市民活動フェア)の活動はおおむね計画のとおり実施できた。わずかではあるが初めての参加の方も得られた。そして何よりも継続して参加していただいている皆さんがいることが一番の力である。

次年度が【事業1】のボランティアバス活動としては一つの区切りとなるが、【事業2】の広域活動便の活動を通して、福島に関わり続けることは変わらない。変わらない福島、変わっていく福島に、かながわ「福島応援」プロジェクトとして長く関わっていく。

福島の元気に！、福島の笑顔に！そして、羽ばたく明日へ

2017年3月31日
かながわ「福島応援」プロジェクト (kfop)
代表 渡辺孝彦／スタッフ一同



Ⅲ. 2017年度活動計画(平成29年度)

1. 福島課題

東日本大震災から6年目が経過した。

5年目を一つの区切りとして支援も大きく変化し、そして6年目、現地の避難指示解除が進み、避難元自治体、避難先自治体、そして支援者もさらに大きく変化していく。

そして、避難指示が解除されても、必要とされることはまだある。

現地で必要とされることがある限り活動を継続していく。また、その後も当会活動として福島との関わり継続する。

2. 活動方針

私達はボランティアである。

- ・活動できる場所であることの判断(安全判断)
- ・活動するうえで必要とする知識(安全知識)
- ・活動するうえでの現地受入団体の長との情報交換(安全の担保)

を行い、活動を進める。現地との情報交換も行い、現地のニーズにて活動を進める。また、現地との関わりは長く続けていく。

3. 活動目的

(1) 現地活動

直接現地に行き、現地が必要とすることのお手伝いをする。

神奈川には分からないことがたくさんある、福島に行き福島を知り、活動を続ける。

(2) 県内支援

神奈川に避難されている方々に神奈川の団体と協力しできることのお手伝いをする。

また、広域の避難者情報を把握し、福島全体の動きをつかみ、広域な避難者支援を行う。

(3) 情報発信

現地に行き福島に関わるものとして、避難区域の今を知って活動を行う。

現地の方を神奈川に招きミニ講演会などを継続し、神奈川に福島を伝えていく。

当会自身の活動も伝え、そして福島で頑張っている方の商品も紹介し福島を伝えていく。

(4) 災害復旧支援

災害ボランティア団体として、自然災害等大規模災害が発生したとき、要請に応じて災害復旧支援を行う。

(5) 維持管理

現地(民間、地元の方、行政・社協など)を訪問し、つながりを維持する。



4. 全体事業計画（概要）

福島活動の3つの柱である直接活動（福島県内での活動）、県内活動（神奈川県内での活動）、情報発信を中心とし10の事業とし、以下に活動（事業詳細）を行う。

事業詳細	計画	
事業1：現地活動 (ボラバス)	計画	【バス便】5便（4月,6月,8月,12月,2月）／参加者（定員）18名（最少16名）／南相馬市小高区で継続活動を行う。
事業2：現地活動 (広域活動)	計画	【広域便】9回（5月,7月,9月,11月+α都度5回）／参加者2人～9人／広域便で現地訪問や現地ニーズ活動を行う。
事業3：県内活動 (連携避難者支援)	計画	神奈川県を拠点として活動する他団体と連携し、主に神奈川県内に避難されている方を対象とする交流会の共催、運営協力を行う。
事業4：県内活動 (広域避難者支援)	計画	3回／関東の避難者グループや支援団体が集まる支援者会議などへの出席を行い、広域支援を行う。
事業5：情報発信 (視察研修)	計画	1回／参加者20名／葛尾村・川内村の視察研修／参加者報告を情報発信に活用する。
事業6：情報発信 (講演会等)	計画	2回（内1回は版教会）／参加者40～60人／福島から講師を招き会員の参加を促し一般の方へのPRも行う。
事業7：情報発信 (出展情報発信)	計画	1回（他有志活動の美味しいふくしま伝え隊）／イベントへの参加を通じて活動紹介や現地の特産品の紹介などを行う。
事業8：情報発信 (HP情報発信)	計画	現地の観光情報や物産情報を発信し、様々な形での福島応援を促す。
事業9：災害復旧支援 (災害緊急対応)	計画	国内で大規模な自然災害等が発生した場合に災害復旧支援ができる体制を備える。
事業10：維持管理 (現地訪問等)	計画	2回／現地の民間団体、個人、行政などとのつながりの維持を目的とした現地訪問を適宜実施する。

(補足文)

2017.4.1

◇2017年度事業計画

活動の3つの柱である直接活動（福島県内での活動）、県内活動（神奈川県内での活動）、情報発信を10の事業に分けて計画を立てている。

事業1：現地活動（【バス便】ボランティアバス）

ボランティアバスでの現地活動は、今年度5回の運行を計画している。
継続して南相馬市小高区での活動を計画する。

事業2：現地活動（【広域便】ボランティアバス以外の自家用車等による広域活動）

現地のニーズに応じて、自家用車や公共交通機関を利用した現地活動を行う。
南相馬市小高区の活動の一部もこの【広域便】で計画する。

事業3：県内活動（他団体との連携による避難者支援）

神奈川県を拠点として活動する他団体と連携して、主に神奈川県内に避難されている方を対象とする交流会の共催、運営協力を予定する。

事業4：県内活動（広域避難者支援に関わる交流会や会議等への出席）

事業3以外にも関東の避難者グループや支援団体が集まる支援者会議などに出席する。

事業5：情報発信（視察研修）

主に避難区域の自治体を訪問先とする現地視察研修を1回実施する。視察研修の参加者報告をまとめ報告書とし視察先へフィードバック、また情報発信に活用する。

事業6：情報発信（勉強会・講演会等）

福島から講師を招いて直接お話を聞く勉強会、講演会の機会を設ける。年2回実施する。
また総会や懇親会と同日開催することで会員の参加を促す。一般の方へのPRも行う。

事業7：情報発信（イベント出展等を通じた情報発信）

市民活動フェアなど費用対効果が見込めるイベントへの参加を通じて、活動紹介や現地の特産品の紹介などを行う。

事業8：情報発信（ホームページを通じた情報発信）

現地の観光情報や物産情報を発信し、様々な形での福島応援を促す。

事業9：災害復旧支援（国内での災害発生時の緊急対応）

国内で大規模な自然災害等が発生した場合に災害復旧支援に対応できる予算計画を明文化した。実際の活動については状況に応じて決定する。

事業10：維持管理（現地訪問、打ち合わせ等）

現地の行政や民間団体・個人とのつながりの維持を目的とした現地訪問を実施する。

その他

有志活動「美味しいふくしま伝え隊」として、福島の美味しいものを伝える活動を続ける。

かながわ「福島応援」プロジェクト (kfop)

5. 事業詳細

(1) 事業1：現地活動（【バス便】ボランティアバス）

①現地課題

南相馬市小高区は2016年7月12日に避難指示が解除された。しかし地元での家屋内外で必要とされるニーズはまだ多くある。2017年度もお手伝いを継続する。

高齢の方、避難している中、当事者だけでは片付けはできない、福島に軸を置き、復旧・復興へできることのお手伝いを継続する。

活動参加は、ボランティアバス形式と【事業2：広域便】を併用する。

②活動目的

南相馬市小高区の復旧へ家屋内外の片付けなどお手伝い。

③活動計画

上下	計画	実績	
		実施日	回数
上期	南相馬ボラバス (3便)		
下期	南相馬ボラバス (2便)		

④活動予算（単位：円）

収入			支出		
項目	計画予算	実績	項目	計画予算	実績
繰越金（会費口）	220,800		旅費交通費	368,000	
新規寄付（個人）	200		(バス代、リカー代,仮眠所代,高速代,他)		
新規寄付（企業A）	95,000				
新規寄付（企業B）	52,000		-	-	
合計	368,000		合計	368,000	

(補足) 参加者の参加費（バス代、一人12,800円）はバス会社に直接支払



(2) 事業2：現地活動（【広域便】ボランティアバス以外の自家用車等による広域活動）

①現地課題

大人数での活動ニーズから少数での復旧・復興への様々なニーズがある。バスを使わずに小回りの利く活動体制も必要となる。2016年度より進めている【広域便（自家用車や公共交通機関を利用）】を活用し、現地の応援につなげていく。

②活動目的

区域を固定せず、福島全域での活動、関わりを継続する。
 必要とされることのお手伝いをする。

③活動計画

上下	計画	実績	
		実施日	回数
上期	南相馬市小高区（3回）		
下期	南相馬市小高区（1回）		
他	スポット活動（5回）		

④活動予算（単位：円）

収入			支出		
項目	計画予算	実績	項目	計画予算	実績
繰越金（会費口）	60,000		旅費交通費	60,000	
			（高速代,宿泊代,ガソリン代,他）		
合計	60,00		合計	60,000	

（補足1）自家用車またはレンタカーを利用（2～3台）し、参加者2～9名を計画する。
 費用は参加者で実費按分する。

（補足2）計画予算は参加者が小人数のときの活動補助とする。

(3) 事業3：県内活動（他団体との連携による避難者支援）

①課題

広域に避難されている方を取り巻く環境は、避難指示解除により各種制度の対象外になる、自主避難者へのみなし仮設住宅の無償供与が打ち切られるなど、生活に直結する悩みがさらに増してくる。避難されている方々の声に耳を傾け、共に進んでいくこと、また関東の自治体・社協などとの情報交換が必要とされてくる部分もある。福島と神奈川をつなぐ当会として引き続き協力していく。

②活動目的

あゆむ会からの共催・協力要請に応じてできることの事業協力を行う。
 また、当会としては福島の実地と神奈川のつなぎ手をしていく。

③活動計画

上下	計画	実績	
		実施日	回数
通期	ふるさとコミュニティ in かながわ		
	町別交流会		
	各地区支援団体間交流事業		
	支援団体交流事業		
	全般		

※現時点では特に協力の要請はない。

④活動予算（単位：円）

収入			支出		
項目	計画予算	実績	項目	計画予算	実績
繰越金（寄付）	10,000		諸会費	10,000	
合計	10,000		合計	10,000	

（補足）諸会費：あゆむ会団体会員の年会費



(4) 事業4：県内活動（広域避難者支援に関わる交流会や会議等への出席）

①課題

自主避難者へのみなし仮設住宅の無償供与の打ち切り、平成29年度の避難指示解除の動きに伴う様々な課題が考えられるため、情報の把握は必要である。

広域支援の視野に立ち、情報の収集、避難者支援団体等の会議へ参加など、福島に関わるものとして、視野を広げ関わっていく。

②活動目的

広域な避難者情報を把握し、福島全体の動きをつかみ、広域な避難者支援を行う。

③活動計画

上下	計画	実績	
		実施日	回数
通期	3回（会議等出席する）		

④活動予算（単位：円）

収入			支出		
項目	計画予算	実績	項目	計画予算	実績
繰越金（会費口）	40,000		旅費交通費	120,000	
新規寄付（個人）	80,000				
合計	120,000		合計	120,000	

(5) 事業5：情報発信（視察研修）

①課題

現地の今を神奈川に伝えていく必要がある。
 今までの活動のつながりを活かし

- ・東日本大震災と原発事故を『風化』させない。
- ・地元の現状、今を『正しく知る・伝える』。
- ・自分達にできることを『考える』。

を継続して進める。

②活動目的

現地に行き福島に関わるものとして、避難区域の今を知って活動を行う。
 ただし、活動マンパワーが不足しているため年1回とする。

③活動計画

上下	計画	実績	
		実施日	回数
通期	1回（10月、葛尾村・川内村）		

④活動予算（単位：円）

収入			支出		
項目	計画予算	実績	項目	計画予算	実績
繰越金（会費口）	77,000		旅費交通費	100,000	
新規寄付（個人）	53,000		（事前打ち合わせ等の費用）		
			印刷製本費	10,000	
			雑費	20,000	
合計	130,000		合計	130,000	

（補足1）バス代など旅費交通費は参加者がバス会社に直接支払う。

（補足2）計画予算は事前の調整、活動報告などに係る費用分を計上している。



(6) 事業 6 : 情報発信 (講演会等)

①課題

神奈川県から多くのボランティアが福島に足を運んでいる。しかしまだまだ、神奈川県内への情報発信は当会としては十分にできていない。

2015年度に初めて大規模な講演会および意見交換会を実施した。マンパワーの限界も含め小規模な講演会も有効であり、可能な中で福島の方を招き、神奈川に発信を継続していく。

②活動目的

現地の方を招きミニ講演会などを継続し、神奈川に福島を伝えていく。

③活動計画

上下	計画	実績	実績	
				回数
上期	1回 (勉強会)			
下期	1回 (講演会)			

④活動予算 (単位:円)

収入			支出		
項目	計画予算	実績	項目	計画予算	実績
繰越金 (会費口)	125,000		講演料	20,000	
新規寄付 (個人)	27,000		旅費交通費 1	80,000	
新規寄付 (企業 A)	50,000		印刷製本費	10,000	
新規寄付 (企業 B)	48,000		会場費	20,000	
			旅費交通費 2	100,000	
			雑費	20,000	
合計	250,000		合計	250,000	

(補足 1) 旅費交通費 1 は、講演会招致者との現地訪問・調整用費用



(7) 事業7：情報発信（イベント出展等を通じた情報発信）

①課題

当会の存在は、神奈川にもまだまだ知られない存在である。福島を発信するとともに当会の活動も知っていただき、そこから福島へとつながってほしい。そして福島で頑張っている方々の商品なども紹介し、一人でも多くの方に関心を持ち続けていただく。

かながわ県民センターで開催される市民活動フェアを活用し、発信する。

また、有志活動として、復興バーに「美味しいふくしま伝え隊」として参加し、福島の美味しいものを伝えていく。(事業外、有志活動)

②活動目的

当会自身の活動も伝え、そして福島で頑張っている方の商品も紹介し福島を伝えていく。

③活動計画

上下	計画	実績	実績	
				回数
通期	1回（市民活動フェア）			
通期	1回（美味しいふくしま伝え隊）			

④活動予算（単位：円）

収入			支出		
項目	計画予算	実績	項目	計画予算	実績
新規寄付（個人）	45,000		支払負担金	2,000	
新規寄付（企業A）	55,000		旅費交通費	50,000	
			印刷製本費	3,000	
			通信運搬費	5,000	
			雑費	40,000	
合計	100,000		合計	100,000	

(補足1) 美味しいふくしま伝え隊は有志活動であり事業予算には含めていない。



(8) 事業8：情報発信（ホームページを通じた情報発信）

①課題

観光情報を含めて、福島を広く広報することも必要、季節ごと、目的ごと様々な情報を定期的に発信し、一度行って見ようかな、につながる発信を継続していく。

「あいばせ福島」会津の方言で、気軽に「さあ、行きませんか」という意味です。

気軽に福島へ、さあ、行ってみませんか。を続ける。

②活動目的

福島の色々なことを定期的に発信していく。

③活動計画

上下	計画	実績	実績	
			回数	
通期	都度（月に一度情報発信）			

④活動予算（単位：円）

収入			支出		
項目	計画予算	実績	項目	計画予算	実績
特になし			なし		
合計	0		合計	0	

(9) 事業9：災害復旧支援（国内での災害発生時の緊急対応）

①課題

災害ボランティア団体として災害に備える

②活動目的

自然災害等大規模災害の復旧支援を行うことを明確にし活動を進める。

③活動計画

上下	計画	実績	実績	
			回数	
通期	1回実施			

④活動予算（単位：円）

収入			支出		
項目	計画予算	実績	項目	計画予算	実績
参加費	0		旅費交通費	0	
合計	0		合計	0	



(10) 事業 10：維持管理（現地訪問、打ち合わせ等）

①課題

福島 of 各市町村、社協、民間団体等と連携するうえで、地元とのつながり維持は大切である定期的な訪問を行い、関係の維持に努める。

また、現地でないとは分からない情報も共有させていただき、活動へ活かしていく。

②活動目的

現地（行政・社協・地元の団体）を訪問し、つながりを維持する。

③活動計画

上下	計画	実績	実績	
				回数
通期	年2回（最低）			

④活動予算（単位：円）

収入			支出		
項目	計画予算	実績	項目	計画予算	実績
繰越金（会費口）	97,200		旅費交通費	180,000	
新規会費	140,000		諸会費	1,200	
新規寄付（個人）	154,800		通信運搬費	6,000	
			印刷製本費	1,200	
			消耗品費	3,000	
			webアルバム	14,400	
			雑費	178,400	
合計	392,000		合計	392,000	



かながわ「福島応援」プロジェクト (kfop)
 ≪2016年度(H28)活動実績・2017年度(H29)活動計画≫

(11) 事業合計

①活動計算書

科目	活動計算書					
	かながわ「福島応援」プロジェクト(kfop) 2017年4月1日～2018年3月31日まで (単位:円)					
	金額		金額		金額	
	計画 金額(小計)	実績 金額(小計)	計画 金額(中計)	実績 金額(中計)	計画 金額(合計)	実績 金額(合計)
I 経常収益						
1. 受取会費						
受取会費	140,000	0	140,000	0		
2. 受取寄付金						
受取寄付金(一般)	364,386	0				
受取寄付金(目的)	300,000	0	664,386	0		
3. 受取助成金等						
受取民間助成金1		0				
受取民間助成金2		0	0	0		
4. 事業収益						
事業1収益		0				
事業2収益		0				
事業3収益		0				
事業4収益		0				
事業5収益		0				
事業6収益		0				
事業7収益		0				
事業8収益		0				
事業9収益		0				
維持収益		0	0	0		
5. その他収益						
受取利息		0	0	0		
経常収益計					804,386	0
II 経常費用						
1. 事業費						
(1)人件費	0	0				
人件費計	0	0				
(2)その他経費						
事業支払負担金	2,000	0				
事業謝礼金	20,000	0				
事業源泉徴収額	0	0				
事業印刷製本費	23,000	0				
事業会議費	20,000	0				
事業旅費交通費	878,000	0				
事業通信運搬費	5,000	0				
事業消耗品費	0	0				
事業保険料	0	0				
事業支払手数料	0	0				
事業支払寄付金	0	0				
事業諸会費	10,000	0				
事業雑費	80,000	0				
その他経費計	1,038,000	0				
事業費計			1,038,000	0		
2. 管理費						
(1)人件費						
人件費計	0	0				
(2)その他経費						
管理支払負担金	0	0				
管理印刷製本費	5,000	0				
管理会議費	0	0				
管理旅費交通費	180,000	0				
管理通信運搬費	10,000	0				
管理消耗品費	3,000	0				
管理保険料	0	0				
管理支払手数料	0	0				
管理支払寄付金	0	0				
管理諸会費	1,200	0				
管理雑費	192,800	0				
その他経費計	392,000	0				
管理費計			392,000	0		
経常費用計					1,430,000	0
当期正味財産増減額					-625,614	0
前期繰越正味財産額					625,614	625,614
次期繰越正味財産額					0	625,614

(2017年4月1日 現在)



②貸借対照表

貸借対照表



かながわ「福島応援」プロジェクト(kfop)

2017年4月1日 ~ 2018年3月31日まで

(単位:円)

科目	金額		
I 資産の部			
1. 流動資産			
横浜BK会費口	625,614		
横浜BK寄付口	0		
仮払金	0		
流動資産合計		625,614	
2. 固定資産			
固定資産	0		
固定資産合計		0	
資産合計			625,614
II 負債の部			
1. 流動負債			
仮受金	0		
前受金	0		
未払金	0		
流動負債合計		0	
2. 固定負債			
役員借入金	0		
固定負債合計		0	
負債合計			0
III 正味財産の部			
前期繰越正味財産		625,614	
当期正味財産増減額		0	
正味財産合計			625,614
負債及び正味財産合計			625,614

(2017年4月1日 現在)



かながわ「福島応援」プロジェクト (kfop)
 ≪2016年度(H28)活動実績・2017年度(H29)活動計画≫

③財務諸表の注記

財務諸表の注記



かながわ「福島応援」プロジェクト(kfop)

(会計期間：2017年4月1日～2018年3月31日まで)

1. 重要な会計方針

財務諸表の作成は、NPO法人会計基準によっています。
 資産は、口座預金(会費口、寄付口)のみ、固定資産なし。借入等の負債なし(前受、仮受を除く)

2. 事業別損益の状況

事業別損益の状況は以下の通りです。

(単位:円)

科目	事業1 ボラバス	事業2 現地広域	事業3 あゆむ会	事業4 県内広域	事業5 視察研修	事業6 講演会	事業7 市民活動	事業8 あいざせ	事業9 災害対応	事業 部門計	維持管理	合計
I 経常収益												
1. 受取会費(新規)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
【事業計画】	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	140,000	140,000
2. 受取寄付金(新規)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
【事業計画】	200	0	0	80,000	53,000	27,000	45,000	0	0	205,200	159,186	364,386
3. 受取助成金等	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
【事業計画】	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
4. 受取目的寄付等	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
【事業計画】	147,000	0	0	0	0	98,000	55,000	0	0	300,000	0	300,000
5. 事業収益(参加費)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
【事業計画】	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
6. 前期繰越金(寄付)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
7. 前期繰越金(目的)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
8. 前期繰越金(会費)	220,800	60,000	10,000	40,000	77,000	125,000	0	0	0	532,800	92,814	625,614
9. その他収益	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
経常収益計	220,800	60,000	10,000	40,000	77,000	125,000	0	0	0	532,800	92,814	625,614
【事業計画計】	368,000	60,000	10,000	120,000	130,000	250,000	100,000	0	0	1,038,000	392,000	1,430,000
II 経常費用												
(1) 人件費	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
人件費計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
(2) その他経費												
諸謝金	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
源泉徴収額	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
印刷製本費	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
会議費	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
旅費交通費	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
車両費	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
通信運搬費	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
消耗品費	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
保険料	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
支払手数料	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
支払寄付金	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
諸会費	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
支払負担金	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
雑費	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
その他経費計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
経常費用計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
当期経常増減額	220,800	60,000	10,000	40,000	77,000	125,000	0	0	0	532,800	92,814	625,614

(※表示項目の金額は寄付口から会費口(事業用口座)へ振替額または予定額を示す。)

3. 使途等が制限された寄付等の内訳

内容	期首残高	当期 増加額	当期 減少額	期末残高	備考
	0	0	0	0	
	0	0	0	0	
	0	0	0	0	
	0	0	0	0	
	0	0	0	0	
	0	0	0	0	
合計	0	0	0	0	

(2017年4月1日 現在)



6. 2017年度の役員・スタッフ

(1) 役員・スタッフ

区分	役割	氏名	兼務等	
役員	代表	渡辺 孝彦	重任	兼 会計、渉外、あゆむ会副理事長
	広報	東 尚子	重任	
		村上 幸	重任	
		私市 慎治	重任	
		長崎 羊子	重任	
監事		矢島 國記	新任	監事（業務監査、会計監査）、記録
スタッフ	全体支援	22名	継続	すべてについて可能な活動支援を行う。

(2) 事業担当

事業	事業名	担当名
事業1	ボラバス担当	渡辺孝彦、長崎羊子
事業2	現地広域担当	渡辺孝彦、東 尚子
事業3	あゆむ会担当	渡辺孝彦
事業4	県内広域担当	東 尚子、渡辺孝彦
事業5	視察研修担当	渡辺孝彦、東 尚子
事業6	講演会等担当	東 尚子、渡辺孝彦
事業7	市民活動担当	渡辺孝彦、東 尚子
事業8	あいばせ福島担当	私市慎治
事業9	災害復旧支援担当	私市慎治、村上 幸
事業10	維持管理	渡辺孝彦、東 尚子
(関連事業)	美味しいふくしま伝え隊	村上 幸、東 尚子

(3) 2017年度4月会員状況 (2017.5.2.時点)

(単位：人)

区分		総人数	女性数	男性数
正会員	0/A	52名(▲2)	21名(+1)	31名(▲3)
一般会員	1	131名(+23)	49名(+13)	82名(+10)
賛助会員	2	7名(+1)	4名(+1)	3名(±0)
登録メンバー	9	106名(▲4)	43名(▲13)	63名(+9)
合計		296名(+18)	117(+2)	179名(+16)

(補足) 0内は前年2016.5.5対比



7. 最後に

当会は、2017年度も粛々と活動を進めます。

一つに、長期的に関わることを前提とし、福島の方々とのつながりを広げ、維持していく。

福島の皆様の立場は様々。しかし想いは同じ。

- ・ 同じ県内での分断（浜通り、中通り、会津地方、町、ご近所、ご家族・・・）
- ・ 県内と県外での分断（福島県と他県・・・）
- ・ 県外での分断（強制避難・自主避難・・・）

違う想いではなく、同じ想いである。

また、神奈川県内に避難を余儀なくされている皆様の必要とされることへ、少しでもお手伝いさせていただければ、の想いです。

福島の元気に！

福島の笑顔に！

羽ばたく明日に！！

私達は、元気に、明るく、参加者と活動を続けていきます。

福島の応援を続けます。これからもよろしくお願ひします。

2017年4月1日

かながわ「福島応援」プロジェクト (kfop)

代表 渡辺孝彦／スタッフ一同

Ⅲ. 補足資料

1. 活動の様子

(1) 詳細はHPをご参照ください。【 <http://kfop.jimdo.com/活動様子/> 】

(2) 一部写真



【事業1】小高区ボラバス



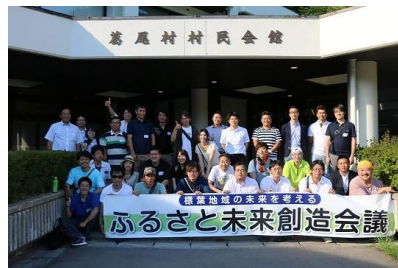
【事業2】相双ボラ参加



【事業2】川内村ブドウ植栽ボラ



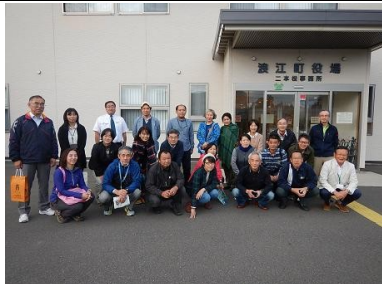
【事業4】双葉郡未来会議参加



【事業4】ふるさと未来創造会議参加



【事業5】双葉町視察研修便



【事業5】浪江町視察研修便



【事業6】第2回講演会



【事業6】第3回講演会



【事業7】2017市民活動フェア



【有志活動】相馬野馬追観戦



【有志活動】美味しい福島伝え隊



かながわ「福島応援」プロジェクト (kfop)
 ≪2016年度(H28)活動実績・2017年度(H29)活動計画≫

2. 活動日程 (計画、一部抜粋、状況により変更もあります。)

kfop2017年度-kfop事業日程

[kfop]

4月							5月							6月						
月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日
					1	2	1	2	3	4	5	6	7				1	2	3	4
					108							109							110	
3	4	5	6	7	8	9	8	9	10	11	12	13	14	5	6	7	8	9	10	11
																			74便バス	(43)
10	11	12	13	14	15	16	15	16	17	18	19	20	21	12	13	14	15	16	17	18
							現地訪問							現地訪問						
17	18	19	20	21	22	23	22	23	24	25	26	27	28	19	20	21	22	23	24	25
					72便バス	(41)						73便広域	(42)						総・勉・懇↑	
24	25	26	27	28	29	30	29	30	31					26	27	28	29	30		
7月							8月							9月						
月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日
					1	2	31	1	2	3	4	5	6					1	2	3
					111		追					112							113	
3	4	5	6	7	8	9	7	8	9	10	11	12	13	4	5	6	7	8	9	10
10	11	12	13	14	15	16	14	15	16	17	18	19	20	11	12	13	14	15	16	17
↑美味しいふくしま(予定)																				
17	18	19	20	21	22	23	21	22	23	24	25	26	27	18	19	20	21	22	23	24
					75便広域	(44)						76便バス	(45)						77便広域	(46)
24	25	26	27	28	29	30	28	29	30	31				25	26	27	28	29	30	
					野馬															
10月							11月							12月						
月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日
						1	30	31	1	2	3	4	5					1	2	3
												115							116	
2	3	4	5	6	7	8	6	7	8	9	10	11	12	4	5	6	7	8	9	10
現地訪問					114									現地訪問					80便バス	(48)
9	10	11	12	13	14	15	13	14	15	16	17	18	19	11	12	13	14	15	16	17
					(5)	78便視察														
16	17	18	19	20	21	22	20	21	22	23	24	25	26	18	19	20	21	22	23	24
												79便広域	(47)						なし	
23	24	25	26	27	28	29	27	28	29	30				25	26	27	28	29	30	31
1月							2月							3月						
月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日
1	2	3	4	5	6	7				1	2	3	4				1	2	3	4
					117							118							119	
8	9	10	11	12	13	14	5	6	7	8	9	10	11	5	6	7	8	9	10	11
																			市民↑活動↑	
15	16	17	18	19	20	21	12	13	14	15	16	17	18	12	13	14	15	16	17	18
					講演・懇↑		?													
22	23	24	25	26	27	28	19	20	21	22	23	24	25	19	20	21	22	23	24	25
					なし							81便バス	(49)							
29	30	31					26	27	28					26	27	28	29	30	31	

〈凡例〉 XX(数字のみ): 定例会(土曜日15:00~18:00、県サポ11Fパートナーシップルーム)

XX便バス: ボラバス XX便: 広域(自家用車や公共交通機関を利用) XX研: 視察研修便

総: 総会 講: 講演会 勉: 勉強会 懇: 懇親会 訪: 現地訪問

※ボランティアは前月初(1日)に募集を開始する。視察便は前々月初。

2017年度kfop活動スケジュール~v20170512.xlsx



保護ページ